



# JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 341

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088(655)4105  
fax. 088(655)4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 中川 孝文



### 当面の日程

- 7月20日 第27回参議院選挙投票日
- 7月30日 中小労働関係セミナー（第3回）
- 8月5日 連合平和行動in広島（～6日）
- 8月8日 連合平和行動in長崎（～9日）
- 8月18日 クラシノソコアゲ駅前街宣
- 8月23日 中小労働関係セミナー（第4回）
- 8月30日 第25期連合徳島VST養成講座（第1回）

### 連合徳島地方委員会

## 『働くことを軸とする安心社会』を実現するために 2025年度後期主要課題の方針を確認

# 川口誠一 新会長が就任



新川口会長による団結ガンバロー

2025年6月26日(木)、徳島グランヴィリオホテルにて2025年度連合徳島地方委員会を開催。参加者は各構成組織などから77人（うち委任状3人）であった。（特別枠を含めた女性の参加は18人で23.3%）

地方委員会では2025春季生活闘争の中間まとめ、2025年度後期の主要課題の方針および連合徳島の役員補充などを決定した。中川会長代行（自治労）の開催あいさつと、委員会議長に阿佐地方委員（自動車総連）を選出。執行部を代表して島会長（電力総連）が「ウクライナとロシア、イスラエルとイランの国際紛争をはじめ、その地域の平和を脅かすだけでなく、私たちの生活にも物価上昇という大きな波となって襲い掛かっている。平和なくして労働運動なし。2025春季生活闘争、徳島県では100人以上で額・率ともに対前年プラス、99人以下では

率が対前年マイナスとなったものの、額は昨年を上回っている。春季生活闘争、最賃引き上げへの取り組み、人事院勧告・人事委員会勧告・確定闘争まで、年間を通じてた賃金や労働条件の引き上げへの取り組みに、連合徳島に集うすべての皆様のご協力をお願いする。私は本地方委員会をもって、会長を退任する、10年間事務局長・会長として大変重要な役割を担う機会をいただいた。全ての皆様に心から感謝を申し上げる」とあいさつを行った

来賓祝辞として、連合本部・内藤副事務局長、徳島県生活環境部・吉成副部長、労働福祉団体を代表してこくみん共済COOP徳島推進本部・大谷本部長、連合徳島推薦国会議員・高橋永衆議院議員（立憲県連を兼ねる）、広田一参議院議員、国民民主党徳島県連・仁木幹事長から、また連合徳島議員ネットワークより庄野県議、長池県議、加村徳島市議、春田徳島市議、橋本阿南市議、阿佐吉野川市議にも一言ずつ挨拶をいただいた。

その後、一般経過報告と上半期一般会計報告が提案され、経過報告にかかわり辰巳地方委員（U・A・センセン）より、「口頭で行われた『ハラスメント裁判』に関する報告について、新聞報道により組合員から問い合わせが来ている。損害賠償請求も含めて、今後の対応方針について伺いたい」との発言があった。執行部からは「控訴も含めて検討中。ハラスメントにかかわる損害賠償請求について、組織・雇用責任も含めて対応を協議したい」との答弁があり、全体の拍手で承認された。つぎに川口事務局長（情報労連）が第1号議案「2025春季生活闘争の中間まとめ(案)」第2号議案「2025年度後期主要課題の取り組み方針(案)」を提案した。

質疑討論では、鈴木地方委員（自治労）から「7月20日投票の参議院選と同日に三好市では市長選があり、それに伴い竹内県議が持っていた議席の補欠選挙が行われる。その議席を守るために三好市職労連から元委員長細田博樹さんが立候補する為、取り組んでいく。」松岡地方委員（自治労）から「とくしまピースネット80の取り組みとして、徳島大空襲があった7月4日を県条例で『県平和の日』として制定する為の署名活動への協力をお願いしたい」と発言があった。

執行部からは「この地方委員会に参加されている方の中には三好市に住民票がある方、親戚がおいでの方が多い」と思いますので1人でも多くの方にお声がけをしていただきたい。また、署名に際しても各構成組織を通じてお願いをしているところではあります。より一層広げていただきたい。」と答弁したのちに、採択された。

率対前年プラス、99人以下では

率対前年マイナスとなったものの、額は昨年を上回っている。春季生活闘争、最賃引き上げへの取り組み、人事院勧告・人事委員会勧告・確定闘争まで、年間を通じてた賃金や労働条件の引き上げへの取り組みに、連合徳島に集うすべての皆様のご協力をお願いする。私は本地方委員会をもって、会長を退任する、10年間事務局長・会長として大変重要な役割を担う機会をいただいた。全ての皆様に心から感謝を申し上げる」とあいさつを行った

来賓祝辞として、連合本部・内藤副事務局長、徳島県生活環境部・吉成副部長、労働福祉団体を代表してこくみん共済COOP徳島推進本部・大谷本部長、連合徳島推薦国会議員・高橋永衆議院議員（立憲県連を兼ねる）、広田一参議院議員、国民民主党徳島県連・仁木幹事長から、また連合徳島議員ネットワークより庄野県議、長池県議、加村徳島市議、春田徳島市議、橋本阿南市議、阿佐吉野川市議にも一言ずつ挨拶をいただいた。

その後、一般経過報告と上半期一般会計報告が提案され、経過報告にかかわり辰巳地方委員（U・A・センセン）より、「口頭で行われた『ハラスメント裁判』に関する報告について、新聞報道により組合員から問い合わせが来ている。損害賠償請求も含めて、今後の対応方針について伺いたい」との発言があった。執行部からは「控訴も含めて検討中。ハラスメントにかかわる損害賠償請求について、組織・雇用責任も含めて対応を協議したい」との答弁があり、全体の拍手で承認された。つぎに川口事務局長（情報労連）が第1号議案「2025春季生活闘争の中間まとめ(案)」第2号議案「2025年度後期主要課題の取り組み方針(案)」を提案した。

質疑討論では、鈴木地方委員（自治労）から「7月20日投票の参議院選と同日に三好市では市長選があり、それに伴い竹内県議が持っていた議席の補欠選挙が行われる。その議席を守るために三好市職労連から元委員長細田博樹さんが立候補する為、取り組んでいく。」松岡地方委員（自治労）から「とくしまピースネット80の取り組みとして、徳島大空襲があった7月4日を県条例で『県平和の日』として制定する為の署名活動への協力をお願いしたい」と発言があった。

執行部からは「この地方委員会に参加されている方の中には三好市に住民票がある方、親戚がおいでの方が多い」と思いますので1人でも多くの方にお声がけをしていただきたい。また、署名に際しても各構成組織を通じてお願いをしているところではあります。より一層広げていただきたい。」と答弁したのちに、採択された。

率対前年プラス、99人以下では



松岡地方委員



鈴木地方委員



辰巳地方委員



オルグの様子

連合徳島女性委員会は5月19日～28日の間に各構成組織に出向き、オルグを実施した。オルグでは①組合員の男女比率②三役・執行委員などへの選出状況③女性役員選出への意識や周囲の反応・空気観など④役員登用にあたる女性への声かけ⑤女性自身の抵抗など⑥女性役員がいることの変化⑦ジェンダー平等の取り組み⑧連合大会や中央委員会への代議員選出の取り決め⑨トップリーダー自らジェンダー平等推進について⑩女性役員育成・選出を目的とする研修や役員選出後のフォロー⑪連合女性委員会に対しての要望などについて聞き取りをした。主な内容については以下の通り。

○女性役員の選出について  
多くの組織で取り組みがはじまっているものの、上の役になるにつれて引き受けてくれないのが現状。  
○役員登用に当たる女性への声かけ  
いきなり役員ではなく「まずは職場委員から」などと声掛けをし、育成段階の組織も出てきている。

○女性役員がいることの変化  
女性が少ない職場なので女性の意見が出ることは貴重  
○ジェンダー平等の取り組み  
多くの組織で本部主催や支部主催の学習会があり、多くの組合員が参加している  
女性委員会では今回のオルグで集約した意見を活かし、今後の活動に取り組んでいく。

## 女性委員会の取り組み

### 女性委員会オルグ

### 徳島労働局要請行動

2025年6月18日、徳島労働局会議室で男女平等参画社会の実現に向けた要請行動に取り組み、連合徳島からジェンダー平等局長の岡副会長（情報労連）、女性委員会から藤田委員長（U・A・センセン）と三木事務局長（全国一般）、白石事務局長、南副事務局長、仁木職員が参加した。  
まず、徳島労働局雇用環境・均等室に「男女平等参画社会の実現に向けた要請書」を手交し、自己紹介をした後、労働局から回答があった。①臨時・非常勤職員の雇用安定や処遇改善の要望を本省と共有する、②一般事業主行動計画の策定を支援するとともに男女間格差の要因分析など情報提供に努める、③ハラスメント対策は事業主の責務であるとの周知徹底を図る、④育児・介護休業法改正について説明会を実施し両立支援等助成金の活用を推進する、などの見解が出された。  
これらの回答を受けた後、意見交換が展開された。連合徳島からは「女性活躍推進のための課題を明らかにするよう事業主に指導徹底してほしい」「両立支援助成金では受給に時間がかかったり事務が煩雑になるため、申請を断念するケースもある。申請を簡略化するように検討を」などの意見が出された。  
労働局は「労働者数に関わらず、男女間格差の改善にむけた要因分析・是正に努める。ハラスメント対策を強化するための助言・指導を徹底する」と述べた。



岡副会長から福島室長に手交

徳島県労働部  
徳小策本

# 第5期労働関係セミナー

## 第1回

2025年5月22日に徳島県中小労働対策本部第5期労働関係セミナーの全4回の第1回目として「ハラスメント防止に関する事業主の責務と労働組合の役割」と題して、各産別から31人が参加のもと、ふれあい健康館にて開催された。

全4コマの開講にあたり、冒頭に中小労働対策本部

鹿草議長の開会挨拶を皮切りに、あわ共同法律事務所弁護士篠原 健先生によるセミナーが行われた。ハラスメントには幾つもの〇〇ハラスメントと呼ばれるものがあるが、本セミナーにおいては、職場における「パワーハラスメント」について

## 第2回

中小労働対策本部は2025

年6月20日(金)にふれあい健康館2階で第5期労働関係セミナーを開催した。

演題を「労働組合と政治活動」とし、講師に連合徳島推薦議員ネットワーク事務局から加村祐志事務局長をお招きした。まず初めに、第49回衆議院選挙結果においての与党の議席数と第50回衆議院選挙結果の与党の議席数を見て、政権交代までにならないとは言え、与党が過半数割れに追い込むことが出来た事のお話を拝聴した。それは全国の有権者の力、それを取り巻く労働組

て重点的に説明があった。職場における「パワーハラスメント」の定義として、職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動であつて、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、①②③までの要素を全て満たすものが該当する。

上記を踏まえて過去の3件の裁判例を用いての説明があつたが、実際の裁判でも一審と二審で判決が逆になる等、パワーハラと業務上の教育・指導との線引きが難しい場合が多いとのことだった。

また近時の事例として、みんなの記憶にも新しい兵

合の力と改めて感じた。そして、臨時国会での学校給食の無償化などのお話、

通常国会での高額医療費制度の負担上限額の引上げ凍結に関して、長期治療が必要な患者の負担を軽減する「多数回該当」の限度額引上げを見送ったことに伴い、衆議院で55億円が増額修正のお話等があり、次に徳島県下における様々な問題についても我々にとって普段の生活に関係することを解決していく必要があることを述べられた。

庫県文書問題に関する第三者調査委員会の調査報告書についての話があり興味深く聞くことが出来た。よく受ける質問として、証拠としての私の録音は大丈夫か?というのがあり、裁判の証拠としては大丈夫だが、会社の就業規則等で録音自体が制限されている場合があるので、注意が必要とのことだった。

最後に質疑応答があり、3人からの質問があつた。回答の中で、専門的な法律の知識の無い組合執行部が初動対応する難しさや中小企業においては相談内容から本人が特定されやすく匿名性の確保が難しい等の問題点について説明があり、セミナーが終了し

もの一つとして「選挙に参加すること」を改めて挙げていくことが労働組合の役割であると感じ、実行に移すことを決意した。

貴重な講演の後、現代社会において選挙離れを問われている中で、民意を示す



セミナーを受ける参加者



講演を行う加村市議



セミナーを受ける参加者



講演を行う篠原弁護士

**わたしプラスもう1票** 第27回参議院選挙

# キミの一票で未来を拓こう

よくわかる!すぐわかる!  
参議院選挙の投票方法

選挙区選挙

選挙区選挙

「候補者名」を書く

比例代表選挙

比例代表選挙

名簿に載っている「候補者名」または政党支部を書く

投票箱

「政党支部」よりも候補者の得票になる「候補者名」を書く

2025年度連合四国ブロック最低賃金委員会学習会が、6月4日に高松市で開催され、連合徳島から最低賃金に係る委員8人が参加した。

開会にあたり連合本部仁平総合政策推進局長は、「春季生活闘争は、2年連続で5%を超え中小においても5%近傍の妥結となっているが、トランプ関税が今後どのように影響するか見極める必要がある。また、価格転嫁・適正取引は増えてきているものの、まだまだ道半ばであり、引き続き注視していく。最低賃金については昨年、全国1,000円をめざし取り組んだ結果、全国平均1,055円となったが、2020年代に1,500円をめざすとすれば、たゆまぬ努力が必要となる。昨年を超える水準の目安にこだわる。」と決意を述べられた。



学習会の様子

その後、長江労働条件・中小地域対策部長より、2025年度最低賃金方針についての提起を受けた後、意見交換を行なった。休憩をはさみ、各県から昨年の地域別最低賃金の審議経過や課題について共有するとともに認識を合わせた。

今後開かれる審議会に向け、連合本部および四国ブロックが連携し審議会に臨むことを確認し会議を終了した。

毎月05日はれんごうの日

## 投票日に行けない方は期日前投票

理由はなんでもOK

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定がある方
- 旅行などの予定が入っている方
- 入院や出産などでその日に投票に行けない方

投票できる期間 | 公示日の翌日から投票日の前日まで  
投票できる時間 | 8:30~20:00 ※それぞれ2時間以内の繰上げ・繰下げあり  
投票場所 | 選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」  
詳しくは市区町村の選挙管理委員会に確認してください。

## 吉野川市議会議員選挙結果

2025年5月11日(日)告示、18日(日)投票開票の吉野川市議会議員選挙において、連合徳島が推薦する阿佐勝彦(無所属・現職)、山側紗矢香(立憲・新人)が当選を果たした。投票結果については次の通り。

阿佐勝彦	818票12位
山側紗矢香	824票11位
投票率	52.75%
定数	18人(立候補20人)

当選確実を受けバンザイする阿佐市議

支援者と共に初当選を喜ぶ山側市議